

清浄光明を描く



「バナナ供養(ケラパリー)」(部分) 2023年

畠中光享 日本画展

— はじまりと今 —

会期 I期：2025年3月8日(土)~4月20日(日) II期：2025年4月23日(水)~6月22日(日)

開館時間 午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日 4月21日(月)、4月22日(火)

拝観料 一般1000円、大学生600円、中高生300円、小学生200円

主催 相国寺承天閣美術館、日本経済新聞社 協力 MBSテレビ

相国寺承天閣美術館
SHOKOKUJI JOTENKAKU MUSEUM

〒602-0898 京都市上京区今出川通烏丸東入ル TEL: 075-241-0423 <https://www.shokoku-ji.jp/>



「悲しみの刻」 2024年 I期



「濁水に汚されない蓮のように」(部分) 2014年 I期

日本画家畠中光享(はたなか・こうきょう)は東洋画の本質である、絵は平面であるという事を意識して、線と岩絵具の美しさを最大限生かす表現を模索し続けています。その為に中国画にはなかった色彩豊かなインド細密画を半世紀以上研究・収集し続け、そのための渡印も百回を超え、インド美術研究者としても知られています。

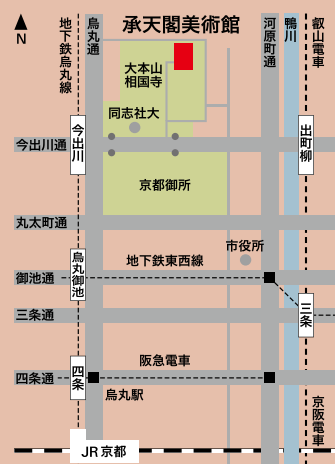
既成の団体展には所属せず、実験的なグループ展を自ら次々と立ち上げ、仏教を主題に対象を徹底して調べ上げ、仏教の本質に迫ろうと制作を続けている畠中光享の多くの新作を含む優品を多数紹介します。

〔畠中光享略歴〕

1947年奈良県生まれ。大谷大学文学部で日本仏教史を専攻し卒業後、京都市立芸術大学専攻科を修了。1977年第21回シェル美術賞展一等賞、1978年第1回東京セントラル美術館日本画大賞展大賞、京都府文化賞功労賞など受賞多数。2018年興福寺中金堂法相柱絵祖師像を制作、2021年東本願寺御休息所襖絵を制作。



「一灯」(部分) 2015年 II期



- ▶ JR京都駅より京都市営地下鉄「今出川」駅下車 3番出口から徒歩8分
- ▶ 阪急電車烏丸駅より京都市営地下鉄「今出川」駅下車 3番出口から徒歩8分
- ▶ 京阪電車「出町柳」駅3番出口より 徒歩20分、
または市バス59・201・203号系統「同志社前」下車 徒歩6分
市バス102号系統(洛バス)「烏丸今出川」下車 徒歩8分

相国寺承天閣美術館
〒602-0898 京都市上京区今出川通烏丸東入ル
TEL 075-241-0423 <http://www.shokoku-ji.jp/>

◎講演会 (13:30~15:00)

- 3月15日(土) 「日本画の歴史と今後の日本画を考える」
- 5月3日(土) 「日本画の問題点」
- 5月31日(土) 「過去から日本画の可能性を考える」

講師：畠中光享氏

場所：当館二階講堂(13:00開場)

定員：先着80名 ※詳細はHPに掲載

◎ギャラリートーク (14:00~15:00)

- I期 3月22日(土)・4月12日(土)・4月19日(土)
- II期 5月10日(土)・5月24日(土)・6月14日(土)

※各イベントには当日の拝観券が必要です。



「禪定達磨」 2024年